



道具・衣装

Festival items & costumes

祭りを盛り上げる華やかな道具や衣装。流鎗馬を見に来たことがあるあなたも、そのいわれや意味を知れば、いつもと違った見方ができるかもしれません。

せんす 扇子



むち
鞭

乗り子らが参道を下る際、観客に向けて投じる。全てお祝い・お清めを受けており、子どもの健やかな成長・無事息災にご利益があると言われている。



鞭や扇子を求める人々。参道には老若男女が入り乱れ、激しい取り合いになることもしばしば。こちらも流鎗馬の大きな醍醐味のひとつと言える。



鞭は全て乗り子の家族による手作り。その数は1家族平均150本で1本作り上げるのに要する時間は約30分。途方もない作業だが、一本一本丁寧に、我が子への思いを込め作り上げる。

ポイント紹介

Introduction of view points

約130mある参道。沿道のどの位置から流鎗馬を見るかで、その楽しみ方も変わってきます。

●神楽殿前付近

後ろを振り返れば、神楽殿で華麗に舞う巫女の姿を間近で見ることが可能。また、参道に目を向ければ、中腹に差し掛かり一番スピードの乗った人馬が風を切り、目の前を横切る姿を見ることができる。



じんがさ じんばおり 陣笠・陣羽織 (前半3回)

流鎗馬が明治3年に一旦廃絶し、明治14年に再興された際から今日まで続く衣装。古式衣装が再興されるまで、しばらくの間陣笠・陣羽織姿のみで行われていたため、流鎗馬と言えばこちらの衣装のイメージが強い方も少なくないだろう。



こしき 古式衣装 (後半3回)

江戸時代に行われていた、花笠と五色の布をまとった華やかな衣装。平成7年に再興された。左の写真では顔の化粧は施していないが、当日はおしろいを塗って紅を差し、一層凛々しい姿となる。

スケジュール

Schedule

10月7日(土) 宵祭

19:00 お神楽奉納、日本剣道形奉納、湯立神事 など

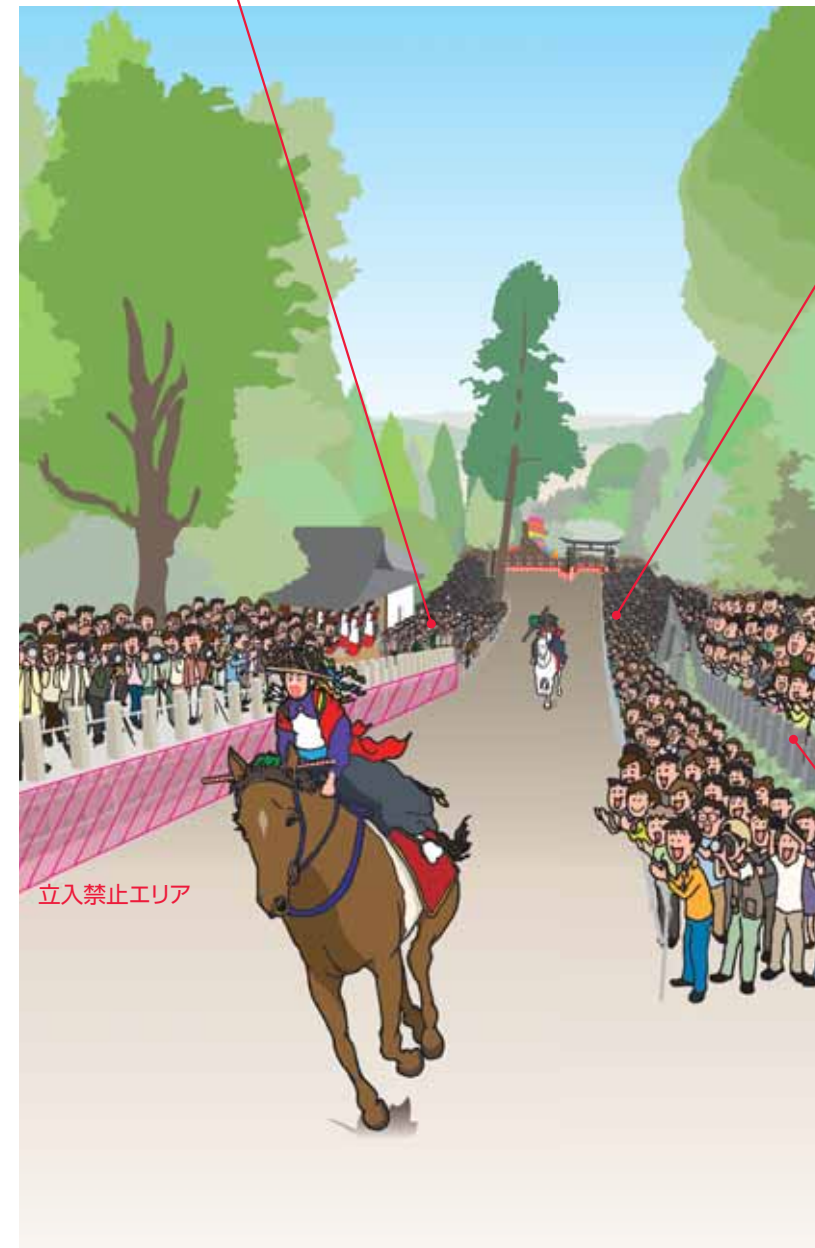
10月8日(日) 本祭

- 11:00 馬場見せ (最後の練習)
- 13:00 花馬、お神楽奉納
- 13:30 火縄銃の実演 (妻木小学校校庭)
- 13:50 手作り鎧武者行列 (妻木小学校～八幡神社)
- 14:00 御輿行列
- 14:30 流鎗馬奉納 (陣笠・陣羽織3回 古式衣装3回)

アクセス

Access

妻木小学校、妻木公民館駐車場などを利用ください。
※当日、八幡神社駐車場は利用できません。



立入禁止エリア



●スタート(鳥居前)付近

スタート前の乗り子の表情や、威勢よく駆け出す姿を見られるポイント。また、陣笠・陣羽織による前半3回の走行後に行われる弓取式(弓を射る儀式※形のみ：写真上)は、この辺りが見やすい。



●参道上部付近

長い参道を一気に駆け上がってくる様子の一部始終を見ることができる。鳥居をくぐりスタートした人馬は、気付けばもう目の前に。その迫力とスピードにきっと驚かされるはず。